## 科目ガイド

昼間部イラストレーション科



## 2023年度 昼間部イラストレーション科 履修表

		年次·学期·週l	一年次		二年次		
教科	目及	び必修・選択の別	前期	後期	前期	後期	
		特別講義·HR	必	3	3	3	3
		メディア情報概論	必	3			
		イラストリアル解剖学	必		3		
		キャリアデザイン	必		3		
		デザイン概論	必			3	3
		ドローイング I	必	3			
		ドローイング Ⅱ	必	3	3		
		ドローイングⅢ	必			3	
_		イラストレーション Ι	必	3	3		
   専   門	講	イラストレーション Ⅱ	必	3	3		
課	義	イラストレーションⅢ	必			3	3
程	•	デジタルスキルI	必	3	3		
— ***	実	デジタルスキルII	必	3	3		
部イ	習科目	ビジュアルコミュニケーション	必			3	3
ラ		デザインリテラシー I	必	3	3		
ス		デザインリテラシー Ⅱ	必			3	3
١-		WebデザインI	必		3		
レー		WebデザインII	必			3	3
シ		コミックイラスト	必	3			
3		フォトグラフィー	必			3	
ン		産学協同プロジェクト	必			3	3
科履		イラストレーションゼミ	必				6
修		キャラクターデザイン	選			3	3
表		ビジュアルデザインワーク	選			3	3
			1.77				
		集中授業 ※随時設定	選	*		*	
	特	学外研修 ※随時設定	選	*			*
	別	海外研修 ※随時設定	選		\ <b>!</b> !	*	\.
	科目	作品展(進級·卒業) ※随時設定	選		*		*
	I	実務実習(インターンシップ)					
		'된 n+ 70 쓰		207	+ 88	227	+ 88
		週時限数		30時間		30時間	
		年間(40週)時限数合計		1,200	時間	1,200	時間

必は必修 選は選択科目

各学年学期、週30時限以上履修すること

必要な科目を取得していても、期末・進級・卒業審査に合格しない場合、進級及び卒業とはならない。

科目名	メディア情報概論					
開講期			前期 時間数 3H			
講師名			鈴木 真紀夫/竹中 智/堀野 朝広			
授業概要	する	ストレー: 。イラス 当する。	ター、デザイナーとして現場で仕事をするために必要な知識 ト、印刷、ネットリテラシーについて専門的な要素を学ぶた	の習得を目的とめ、複数の講師		
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物		
	1	オリエンテー ション	学校の施設、設備の使い方、勉強の仕方などについての解説			
	2		著作権についての必要な知識			
	3	講義	デザインと印刷は、コミュニケーションツール			
	4	講義	パッケージデザインを彩る印刷加工技術			
	5	講義	パッケージデザインから学ぶ デザインと印刷の関連と重要性			
	6	講義	ブランド資産と新価値創造			
	7	講義	インターネットの有効活用について			
前期	8	講義	インターネットの有効活用について	筆記用具		
	9	講義	インターネットの有効活用について			
	10	講義	インターネットの有効活用について			
	11	前期末課題	課題テーマについて。制作上の必要情報			
	12	前期末課題	チェック			
	13	前期末課題	チェック			
	14	前期末課題	チェック			
	15	前期末課題	チェック			
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
後期	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
評価方法	出席	によって	平価			
使用ソフト テキスト	随時	配布				

科目名		イラストリアル解剖学	
開講期		後期 時間数 3H	
講師名		赤本 啓護	
授業概要	たは対象物の とで各自絵の 規、A4サイズ	一ジを、描く対象である人や物の構造から学び、自らの作品 内側に存在する目に見えない部分について、資料から想像し 本質をより深く理解することを目的とする。持ち物は鉛筆、 の画用紙、描いたものや資料等を挟み保管するためのファイ ついては別途授業内で指定する。	、実際に描くこ ボールペン、定
授業計画	回 主題・目的	概要	持参物
前期	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15		
後期	4     人体について       5     人体について       6     人体について	人体をかたちに置き換える骨について学ぶ筋肉について学ぶ頭部を知る手を描いてみる	授業概要欄参照
評価方法	課題に対する	取り組み、制作物、出席状況を踏まえて総合的に評価する。	
テキスト	特になし		

区分 必修 対象 [部][4]1年

科目名			キャリアデザイン	
開講期			後期 時間数 3H	
講師名	,	,	帆玉衣絵	15/5
授業概要	合わ フォ	せたキャ! リオを構	き合い、自分のキャリアを考える。5年、10年後の先の自分を リアを設定し、クリエィティブな仕事を学び、それに合わせた とする。個々のキャリアに合わせて、自分の適性と志向を分析い、就職活動が出来るように準備する。	-思考とポート
授業計画	□	主題・目的	概要	持参物
前期	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14			
	1	オリエン	キャリアスケッチブック作成、、グループ分け、グループワーク	
	3	課外授業 キャリア	街の中で仕事を探す(本屋、商業施設など) 企業リサーチまとめ、企業研究シート作成	1
	4	-T T 7 J	正来りりーテまとめ、正来研究シートFF成ポートフォリオの構成作成	1
	5		ポートフォリオの構成作成	1
	6		ポートフォリオ オリジナルアート作成①	1
	7		ポートフォリオ オリジナルアート作成②	1
後期	8	ポートフォリオ 制作	ポートフォリオ オリジナルアート作成③	PC/スケッチB00K
	9		ポートフォリオ フォーマットデザイン	]
	10		ポートフォリオ レイアウト①	]
	11		ポートフォリオ レイアウト②	
	12		ポートフォリオープレゼンテーション	
	13 14	就活指導	制作 履歴書、自己PR文など 模擬面接	-
		予備日	快解回接   個々の進捗状況に応じて、個別対応	1
評価方法			によって評価	
使用ソフト テキスト	随時	指定		

科目名			デザイン概論				
開講期			前後期 時間数 3H				
講師名			佐仲 渉				
授業概要	デザインによるクリエイティブ・ワークを実践するために求められるマーケティング発想。その取り組み方および、表現方法、解決策への道筋を理解してもらうための講座。デザイナーが単なるデザイン・スキルをもった表現者ということだけでなく、生活者とクライアントとの間をつなぐ伝達者であり、クライアントの抱える問題解決を担う存在であることを理解し、学ぶ。多様化したユーザー・マインド、日々変化を見せる流通の発達、ソーシャルメディアなどモバイルを中心としたクロスメディアへの対応など、コミュニケーションの世界の変容にどのように接し、取り組んでいけばいいのか。マーケティング発想におけるクリエイティブ作業を実践できる表現者の育成を図る。						
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物			
	1		2022年度の日本の広告業について				
	2		マーケティングについて				
	3		マーケティングと広告戦略				
	4		マーケティング発想からのデザインカ				
	5		マーケットの変化に対応するデザインカ①				
	6		マーケットの変化に対応するデザインカ②				
	7		デザインの考え方① 商品企画	PC			
前期	8		デザインの考え方② 商品企画	スケッチブック 筆記用具+KK19			
	9		デザインの考え方③ ネーミング				
	10		デザインの考え方④ ロゴタイプ				
	11		デザインの考え方⑤ ロゴタイプ				
	12		デザインの考え方⑥ パッケージ				
	13		デザインの考え方⑦ パッケージ				
	14		デザインの考え方 ⑧ ポスター				
	15		デザインの考え方 ⑨ ポスター				
	1		クロスメディアについて				
	2		クロスメディアについて PR広告				
	3		モバイルにおける消費拡大の変革				
	4		キャンペーン広告 ① 企画				
	5		キャンペーン広告 ② 企画				
	6		キャンペーン広告 ③ 制作				
	7		キャンペーン広告 ④ 制作	PC			
後期	8		キャンペー広告 ⑤プレゼン	スケッチブック			
	9		キャンペーン広告 ⑥プレゼン	筆記用具			
	10		マーケティング発想による事例 ①				
	11		マーケティング発想による事例 ②				
	12		マーケティング発想に置ける事例③				
	13		マーケティング発想に置ける事例 ④				
	14		マーケテイング概論のまとめ ①				
	15		マーケテイング概論のまとめ ②				
評価方法	出席	及び課題	作品によって評価				
使用ソフト テキスト	随時	配布					

科目名			ドローイング I				
開講期			前期 時間数 3H				
講師名			赤本 啓護				
授業概要	人物クロッキーを行い、絵を描く力としての集中力を養うと共に、ドローイングにおける 基礎知識の習得と、表現力の向上を目指す。人物クロッキーのモデルについては授業毎に 学生同士で交代して行う。持ち物は鉛筆セット(6H~6B)、カッター、消し具、スケッチ ブック。その他の持ち物については別途授業内で指定する。						
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物			
	1	オリエンテー ション	授業内容の説明、描画について	授業概要欄参照			
	2	線を引く	人物クロッキーについて				
	3	人体の構造	- 人体について、人物クロッキー				
	4	空間について	空間について、人物クロッキー				
	5	空間について	空間について、人物クロッキー				
	6	様々な描画	鉛筆以外の描画材を使って描く、人物クロッキー				
	7	様々な描画	鉛筆以外の描画材を使って描く、人物クロッキー	ペン、マーカー、筆 ペン、クレヨンなど			
前期	8	様々な描画	鉛筆以外の描画材を使って描く、人物クロッキー	・ハン、ノレコンなと			
	9	モノを描く	小道具をクロッキーする				
	10	モノを描く	小道具を設定して描く、人物クロッキー				
	11	日常を描く	日常的なイメージを描く、人物クロッキー				
	12	日常を描く	日常的なイメージを描く、人物クロッキー				
	13	人を描く	動きのあるモデルを描く、人物クロッキー				
	14	人を描く	動きのあるモデルを描く、人物クロッキー				
	15	講評	作品講評	これまでに描いた作品			
	1		T. BRICK!				
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
後期	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法		に対する取	り組み、制作物、出席状況を踏まえて総合的に評価する。				
使用ソフト	特に	なし					

科目名	ドローイング Ⅱ						
開講期			前後期 時間数 3H				
講師名	原広信						
授業概要	【授業内容】 前期ではまず、グレーグラデーションの作成を通してデッサンで使われる明暗の調子 (トーン)を体験する。そして自分たちの生活に身近なモチーフを中心に描画をすすめ、 鉛筆によるデッサンの基本を育成する。後期には鉛筆による下描きに透明水彩絵の具を使 用しての水彩画の制作を通して、描画力・表現力を養うことを目的とする。対面&オンラ イン授業を考慮して、学生の身近な物や自宅などの空間で描けるモチーフを設定する。対 面の授業内容をオンラインでも復習できるWEBコンテンツを提供する。 【到達目標】 鉛筆の中心にしたデッサンカ、透明水彩絵具の使い方と描画力の育成を目的とする。						
授業計画	□	主題・目的	概要	持参物			
	1	オリエンテー ション	デッサンとグラデーションについて・課題1:グレーグラデーション作成	B4面用紙・鉛筆セット・練りゴム・30cm 定規・マスキングテープ			
	2	鉛筆デッサン	課題2:基本形体デッサン・「長方体」(ティッシュ箱)	デッサン用具一式・30cm直 定規・モチーフ			
	3	$\downarrow$	課題3:基本形体デッサン・「円柱形」(500mlペットボトル)	デッサン用具一式・30cm直 定規・モチーフ・テープ			
	4	$\downarrow$	課題4:ティッシュボックスのデッサン・箱の形状の描画	デッサン用具一式・30cm直 定規・モチーフ			
	5	$\downarrow$	ティッシュボックスのデッサン・パッケージのロゴタイプ	同上			
	6	$\downarrow$	ティッシュボックスのデッサン・仕上げ→提出	同上			
	7	1	課題5:ガラスのコップのデッサン	デッサン用具一式・30cm直 定規・モチーフ			
前期	8	$\downarrow$	ガラスのコップのデッサン・仕上げ→提出	同上			
	9	Ţ	課題6:缶ジュースのデッサン・基本的な形状描画	デッサン用具一式・30cm直 定規・モチーフ			
	10	Ţ	缶ジュースのデッサン・陰影、プルタップ、ロゴタイプ	同上			
	11	Ţ	缶ジュースのデッサン・仕上げ→提出	同上			
	12	Ţ	課題7:500mlペットボトルと筆2本のデッサン・基本的な形状描画	デッサン用具一式・30cm直 定規・モチーフ			
	13	Ţ	500mlペットボトルと筆2本のデッサン・水面の上下の変化	同上			
	14	Ţ	500mlペットボトルと筆2本のデッサン・仕上げ→提出	同上			
	15	予備日	これまでの課題について、ポートフォリオ素材アドバイス等				
	1	鉛筆デッサン	オリエンテーション・課題1:「商品の入ったレジ袋」鉛筆デッサン	B4画用紙・鉛筆セット・練 りゴム・30cm定規・マスキ			
	2		「商品の入ったレジ袋」デッサン・仕上げ→提出	デッサン用具一式・モチー			
	3	→ 透明水彩仕上 げ	課題2:3限色の重ね塗り・「バナナとトマト」鉛筆による下描き	B4水彩紙・デッサン用具ー 式・透明水彩絵具用具ー			
	4	Ţ	「バナナとトマト」透明水彩絵の具仕上げ→提出	同上			
	5	i i	課題3:「ガラス瓶に観葉植物」鉛筆による下描き	B4水彩紙・デッサン用具一 式・30cm直定規・マスキン			
	6	i i	「ガラス瓶に観葉植物」透明水彩絵の具仕上げ→提出	日本・300回直足規・マスキン B4水彩紙・透明水彩用具一			
	7	1	課題4:「パンケーキ」鉛筆による下描き	AB4水彩紙・デッサン用具ー			
後期	8	l t	「パンケーキ」透明水彩絵の具三原色重ね塗り	式・30cm直定規・マスキン B4水彩紙・透明水彩用具一			
	9	1	「パンケーキ」透明水彩は上げ一提出	式 同上			
	10	1	課題5:「枯山水」鉛筆による下描き	B4水彩紙・デッサン用具ー			
	11	1		式・30cm直定規・マスキン B4水彩紙・透明水彩用具一			
	12	1	「枯山水」透明水彩絵の具三原色重ね塗り	式 同上			
	13	1	「枯山水」透明水彩仕上げ→提出	B4水彩紙・デッサン用具ー			
	14	1	課題5:「海上のヨット」鉛筆による下描き	式・30cm直定規・マスキン B4水彩紙・透明水彩用具ー			
	15	↓	「海上のヨット」透明水彩絵の具三原色重ね塗り	式 同上			
		<u></u> ↓↓ .≘亚/苹/+⊟·□	「海上のヨット」透明水彩仕上げ→提出 調題の探点会での会話を調題数で割った。変われた山麻状況に				
評価方法	計		課題の採点全ての合計を課題数で割った平均点と出席状況に				
使用ソフト		iが作成、i	配布する資料(オンライン用画像・動画を含む)以外のテキ	ストは使用しな			
テキスト	l)						

科目名	ドローイングⅢ						
開講期			前後期 時間数 3H				
講師名			原広信				
授業概要	【授業内容】 鉛筆での描画テクニックの向上と応用した課題制作を行う。ロゴタイプの変形・白いモチーフの描写・水面の表現・色画用紙へのデッサン、さらにメタリック表現と2点透視図法の活用など。さらに就活用ポートフォリオに活用できる課題制作を行う。 対面の授業内容をオンラインでも復習できるWEB用コンテンツを全回提供する。 【到達目標】 自様々な描写対象において描画力を育成し、自分で想定した状況空間で自由に描ける描画力を育成する。						
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物			
	1	鉛筆デッサン	オリエンテーション/課題1:ロゴの変形活用・コカコーラ	B4画用紙・鉛筆セット・練りゴ ム・30cm定規			
	2	1	ロゴの変形活用・コカコーラ 立方体の描画				
	3	i i	ロゴの変形活用・コカコーラ 仕上げ→提出	同上			
	4	i i	課題2:布生地の表現・白のワイシャツの描画	B4画用紙・デッサン用具ー 式			
	5	j	白のワイシャツの描画・モチーフ布生地のシワの描画				
	6	i i	白のワイシャツの描画・陰影など仕上げ→提出	同上			
	7	j	課題3:水面表現とデッサンの合成・水面上の紙コップ(デッサン)	B4画用紙・デッサン用具一式・ マスキングテープ			
前期	8	Ţ	水面上の紙コップ・水面表現(ゆらめき、映り込み)				
	9	Ţ	水面上の紙コップ・背景など仕上げ→提出	同上			
	10			B4画用紙・デッサン用具一式・ 色鉛筆セット・グラス			
	11	1	グラスを持つ手・仕上げ→提出	同上			
	12	鉛筆デッサン	課題5:メタリックと2点透視図法・乗用車と街並み	B4面用紙・デッサン用具一式・30m直定 規・マスキングテープ			
	13	Ţ	乗用車と街並み・BMWのボディーをトレース描画				
	14	Ţ	乗用車と街並み・路面、背景など描写仕上げ→提出	同上			
	15	予備日	これまでの課題について、ポートフォリオ素材アドバイス等				
後期	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15						
評価方法		評価/提出認	果題の採点全ての合計を課題数で割った平均点と出席状況による加	点の合計			
使用ソフト テキスト	■講師が作成、配布する資料(オンライン用画像・動画を含む)以外のテキストは使用しない    ■						

科目名	イラストレーションI					
開講期			前後期	時間数	3H	
講師名				池田	幸穂	
授業概要	【前期】水彩とアクリルガッシュの違いを理解し、自分に合う表現方法を習得していく。 具の混色により色彩の幅と質感描写を理解していく。 【後期】絵画を構成する力を学び、世界観のある作品を目指す。 ■持参物詳細: ・透明水彩道具一式 透明水彩絵の具 折りたたみパレット 筆一式 筆洗器 雑巾 ・アクリルガッシュー式 アクリルガッシュ 紙パレット 筆一式 筆洗器 雑巾					
授業計画	口	主題・目的		概要		持参物
	1	水彩・技法	透明水彩について・	絵の具に	<u></u> 触れる	筆記用具・定規・B4水彩
	2	水彩・技法	透明水彩について・	カラーチ	ヤート	紙・水彩絵の具一式
	3	アクリル技法	アクリルガッシュに	ついて・	絵の具に触れる	筆記用具・定規・B4水彩
	4	観察表現	『パン』を描く・彩作	色・仕上	げ	紙・アクリルガッシュー式
	5	人の肌	透明水彩で色の研究			筆記用具・B4水彩紙・水
	6	人の肌	『顔』肌を彩色			彩絵の具一式
	7	人の肌	アクリルガッシュで1	色を研究		筆記用具・B4水彩紙・ア
前期	8	人の肌	『顔』を彩色			クリルガッシュー式
	9	人の肌	『顔』を彩色・仕上り	<b></b>		
		観察表現	『透明』を描く			<b>-</b>
		観察表現	『透明』彩色・仕上(	<u> </u>		筆記用具・B4水彩紙・水 
		自由創作	『自由創作』ラフ			シュー式
	13	自由創作	『自由創作』彩色			4
	14	自由創作	『自由創作』彩色・作	土上げ		
	-	自由創作	『自由創作』講評			筆記用具・メモ帳 筆記用具・B4水彩紙・水
	2	観察表現	彩度の低い色の作り			彩絵の具かアクリルガッ
	3	観察表現	『古いもの』彩色・位		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	シュー式 筆記用具・B4水彩紙
	4	動物		・アクセ	<u>ントカラーを入れる</u>	章記用具・B4水彩紙・水
	5	動物	<u>『動物』彩色</u> 『動物』彩色仕上げ			一彩絵の具かアクリルガッ シュ
	6	動物		きょう	いて・風景画の構図にて	-
	7	道・構図	<u>収担の抽さ力・追の</u> 『好きな季節』ラフ	老班に フ	いし・風泉画の構図に・	筆記用具·B4水彩紙
後期	8	自由創作	『好きな季節』シラ			
	9	自由創作	『好きな季節』彩色	• 什 上 (+ <sup>*</sup>	1	<ul><li>筆記用具・B4水彩紙・水 彩絵の具かアクリルガッ</li></ul>
	10	講評会	『好きな季節』講評	11.11		シュ
	11	自由創作	『冒険』ラフ			筆記用具·B4水彩紙
	12	自由創作	『冒険』下書き			
	13	自由創作	『冒険』彩色			■ 筆記用具・B4水彩紙・水 彩絵の具かアクリルガッ
	14	自由創作	『冒険』彩色・仕上(	Ť		シュ
	15	講評会	『冒険』講評			筆記用具・メモ帳
評価方法	課題	の提出、タ	完成度、授業や課題に	取り組む	ご姿勢、意欲など総合的	に評価する。
使用ソフト テキスト						

科目名	イラストレーションⅡ					
開講期			前後期 時間数 3H			
講師名			芦屋マキ			
授業概要	寧 に学		とに対しての処理を適切に判断できるよう、複数の画材それ			
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物		
	1	オリエンテーション	授業の目的、課題の内容、色鉛筆の基本表現の制作	B4無地クロッキー帳・鉛筆 セット		
	2	色鉛筆の演習	「トマト」を描く(表現の重なり)	セット A4ケント紙・色鉛筆・鉛筆セ ット・モチーフ/トマト		
	3	1	「スプーン」を描く(質感の描き分け)	44ケント紙・鉛筆セット・		
	4	1	前回作業継続→提出	鉛筆・ケント紙・モチーフ /スプーン		
	5	<b>↓</b>	<u>即回に未絶机で促山</u> ペンの基本表現(ハッチング)前回課題の講評、返却	ネオピコラインセット・ク		
	6	ペンの演習		ロッキー帳		
	7	1	ペンによる模写(硬いもの・柔らかいもの)	ネオピコラインセット A4ケント紙		
前期	8	水彩絵具の	前回作業継続→提出			
נפילונו	9	演習	透明水彩絵の具(三原色塗り重ね等)前回課題の講評、返却	水彩絵具・ミューズ		
	10	1	透明水彩絵の具の基本表現/点描画について	RMKポス		
	11	<u> </u>	透明水彩絵の具による三原色の点描画	ターパッドB4		
	12	→ カラーマーカーの	作業継続→提出			
		演習	ネオピコカラーの基本演習・前回課題の講評、返却	*****		
	13	↓   .	ネオピコカラーの基本表現・ネオピコラインとの併用	ネオピコカラー・ネオピコ ライン・ミューズRMKポス		
	14	<del> </del>	ネオピコカラー「紫陽花(アジサイ)」の描画	ターパッド		
	15	→ アクリル絵の	作業継続→提出			
	1	具の	アクリル絵具の基本演習	ミューズRMKポスターパッ		
	2	アクリル課題	フェルメール絵画の模写「真珠の耳飾りの少女(仮)」グリザイユ技法・下	ドB4・アクリル絵の具一 式・鉛筆セット・練りゴ		
	3	<b>1</b>	前回作業継続 色付け	ム・マスキングテープ		
	4	水彩絵具の	前回作業継続→仕上げ・提出			
	5	演習	モチーフ資料の描画鉛筆での下書き 前回の講評、返却	ミューズRMKポスターパッ		
	6	<b>1</b>	三原色の下塗り	ドB4・透明水彩絵の具一 式・鉛筆セット・練りゴ		
/// HD	7	↓ カラーマー	固有色仕上げ・提出	ム・マスキングテープ		
後期	8	л́ -	モチーフ資料の描画 色鉛筆での下書き 前回の講評、返却	ミューズRMKポスターパッ ドB4・カラーマカーセッ		
	9	<b>1</b>	前回作業継続 マーカー・色鉛筆併用で描画	ト・鉛筆セット・練りゴ ム・マスキングテープ		
	10	1	前回作業継続→仕上げ・提出	± (X(3)) 3		
	11	画材自由課題	各自自由に画材を選んでの自主課題の制作			
	12	1	前回作業継続			
	13	1	前回作業継続	画材・各自用意		
	14	1	前回作業継続→仕上げ・提出			
	15	予備日	前回課題の返却・講評会・振り返り			
評価方法	出席	及び課題に	こよって評価			
使用ソフト						
テキスト						

科目名	イラストレーションⅢ				
開講期			前後期 時間数 3H		
講師名			トシダナルホ		
授業概要	負っ		てサイズやスケジュール、レイアウトを意識して描く。プロ ジでのイラスト制作。ラフ→本制作の手順を踏むことを覚え 作り方。		
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物	
	1		iPhoneケース(手帳型)のデザイン 課題説明		
	2		ラフの制作		
	3		ラフの提出/本制作開始(画材自由)	## 53 FF   /Do##	
	4	グッズ デザイン		筆記用具/PC等 各自必要なもの	
	5	7712	制作	谷日必安なもの	
	6				
	7		提出/SUZURIサイトへの登録		
前期	8		文字/数字を配置することを考えたイラスト テイストの統一		
	9		ラフの制作		
	10		レイアウトの決定		
	11	カレン		筆記用具/PC等	
	12	ダー		各自必要なもの	
	13		制作		
	14				
	15				
	1				
	2		書籍/雑誌/タロットカード/パッケージから各自選択して制作制		
	3		作物の決定/ラフの制作		
	4		 ラフの提出/制作物報告/ブラッシュアップ		
	5		JOSEPH MINISTER OF THE STATE OF	┛ 筆記用具/PC等	
	6	選択課題		各自必要なもの	
	7		制作		
後期	8		19311		
12771	9				
	10		提出		
	11				
		LINEスタンプ	LINEスタンプを作る/シチュエーションに合わせたイラスト		
	13			筆記用具/PC等	
	14		3/C peed	各自必要なもの	
	15	卒制予備		-	
評価方法		のわかり	└────────────────────────────────────	1	
使用ソフト	自由				
テキスト	пπ				

科目名	デジタルスキル I					
開講期			前後期 時間数 3H			
講師名			山口真理子			
授業概要						
授業計画	□	主題・目的	概要	持参物		
	1	超基礎	●演習1 Illustratorでできることを知る、文字を入力するロ			
	2	入門1	●演習2 図形ツールで描く1	_		
	3	入門2	●演習3 図形ツールで描く2	_		
	4	入門3	●演習4 ペンツールで描く1			
	5	入門4	●演習5 ペンツールで描く2			
	6	入門5	●演習6 ペンツールで描く3			
	7	前期課題	アートボードの設定、レイヤー			
前期	8		図形ツールとペンツールを合わせて使う			
	9		狙った形をつくれるようになる練習			
	10		正確にデータをつくる			
	11		クオリティアップ			
	12		スピードアップ			
	13		トンボの役割、プリント実習			
	14		作業日&提出	■ 通年: PC一式 筆記用具 スケッチ		
	15		講評・投票、後期課題出題(他の人の作品を見る・思ったことを言語化する)	<b>━</b> ブックなどラフス		
		後期課題1	サムネイル・ラフの作り方・画面構成について・文字組み基礎	ケッチが描けるもの ──USBメモリ		
	2		●演習7 プロフィールシートをつくる 文字とイラストのバランスを知る			
	3		文字を組む			
	4		クオリティアップ			
	5 6		ブラシ設定	_		
	7		文字を組む2 	4		
後期	8		作業日&提出	-		
区村	_	/# #n=m 8±0	プレゼン・講評・投票(他の人の作品を見る・思ったことを言語化する)	-		
	10	<b>俊</b> 期誅趙2	後期C課題出題	-		
	11		入稿データの作り方1	-		
	12		入稿データの作り方2			
	13		正確にデータをつくる	1		
	14		<u> 進捗チェック・全体フォロー</u> 作業日&提出	┪		
	15		下来口 &	1		
評価方法	前期課題・後期課題2つを軸に点数化 + ドリルのクオリティ + 授業内演習課題の提出率					
使用ソフト テキスト	Adobe Illustrator					

科目名	デジタルスキル Ⅱ				
開講期			前後期時間数	3H	
講師名			鈴木 真紀夫		
授業概要		oshopを使 使えるよ	いこなせるようになる。デジタルでイラスト作品が作為	れるようになる。パー 	
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物	
	1		勉強の仕方など イラスト練習課題(アナログ)		
	2		イラスト練習課題(アナログ)		
	3		概要の説明、各種設定、		
	4		デジタルの基礎		
	5		イラスト制作練習 ツール、ウインドウについて (課題1	)	
	6	·	ブラシ、選択範囲、レイヤー等、項目の設定、使い方		
	7		画像処理、色調補正などの練習		
前期	8		デジタルイラスト練習		
	9		デジタルイラスト練習 (課題2)		
	10		パース基礎		
	11		パース練習		
	12		パース応用 (課題3)		
	13		デジタルイラスト制作		
	14	'	デジタルイラスト制作		
	15		デジタル作品提出 (課題4)		
	1	-	デジタルデータ操作練習		
	2		ゲーム企画 アイデア練り 企画書チェック		
	3		キャラクター 世界観ラフチェック		
	4		キャラクターイラスト制作		
	5		キャラクターイラスト制作		
	6		キャラクターイラスト提出(課題1)		
<b>⟨⟨⟨, ⊕</b> □	7		アイテムイラスト制作 資料集め、アイデア出し		
後期	8		アイテムイラスト制作 ラフチェック		
	9		アイテムイラスト制作		
	10		アイテムイラスト作品提出(課題 2) ゲームパッケージ制作 アイデア出し		
	11		グームパッケージ制作 ティテア 出し ゲームパッケージ制作 ラフチェック		
	13		ゲームパッケージ制作 ロゴ制作		
	14		ゲームパッケージ制作		
	15		ゲームパッケージ作品提出(課題3)		
	10	デジタルイラスト	/ 一・・・ノ / / IFIII)た山(床返り/		
評価方法	出席	及び課題に	こよって評価		
使用ソフト テキスト	Adob	e photosh	пор		

科目名	ビジュアルコミュニケーション				
開講期			前後期 時間数 3H		
講師名			鈴木 真紀夫		
授業概要	リオ	作品の充乳	ションを使った様々な媒体作品の制作、デジタルスキルの 実を目指す。 制作スピードアップ、スキルアップの訓練。	向上、ポートフォ	
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物	
	1	ゲームパッケージ	ゲームパッケージの修正、ブラシアップ		
	2	ゲームパッケージ	ゲームパッケージの制作、ロゴ、レイアウトの見直し		
	3	ゲームパッケージ	ゲームパッケージ出力、提出(課題 1 )		
	4		マップイラスト材料集め、アイデア練り		
	5	マップイラスト	マップイラストアイデアラフチェック 資料整理、制作		
	6		マップイラスト作品提出(課題2)		
	7	背景画イラスト	背景画イラスト 材料集め、アイデア練り		
前期	8	背景画イラスト	背景画ラフチェック、パース取り		
	9	背景画イラスト	背景画イラスト提出(課題3)		
	10	挿絵イラスト	物語の挿絵イラストアイデア出し、資料集め		
			挿絵イラスト制作		
	12		挿絵イラスト提出(課題4)		
	13		アバターイラスト制作 アイデアラフチェック		
	14		アバターイラスト制作		
	15		キャラクターアニメーターの使い方		
	1		アバターイラスト制作、設定		
	2		アニメーションの制作		
	3		アニメーション提出(課題1)		
	4		各自長所、短所の確認		
	5		個別課題制作		
	6		個別課題提出(課題2)		
//· ±±=	7		演習課題1 アイデア出し、制作スピードアップのための演習		
後期	8		演習課題 2		
	9		演習課題3		
	10		演習課題 4		
	11		演習課題 5		
	12		演習課題 6		
			演習課題 7		
	14		演習課題 8		
	15	制作演習	演習課題 9		
評価方法	出席	及び課題に	こよって評価		
使用ソフト テキスト	Adob	e Photos	hop, Illustrator, Character Animator		

理解し、デザインへの移行、プレゼンテーションに至る基礎を学ぶ。前期は筆記用具と方眼紙を使い、基礎演習と文字とレイアウトについて、後半の色彩にいては一部PCを使用して基本を学んでいく。後期は実際に「フライヤー」「レイアウト「装丁」の制作を通じて、自分で考えるカ、創る力の習得を目指す。4回ある講評会・プレゼンテーションでは、人の作品を観ることにより、固定観念の払拭、柔らか頭の構築を目指し、創造する眼を鍛える。またプレゼンテーションにより自の考えを表現する力を養う。    オリエン ガイダンス(はじめて学ぶデザインの基本)  2 演習A-2   2 演習A-3   7   7 アチェック・作業開始   1   1   1   1   1   2   3   3   3   3   3   3   3   3   3	科目名	デザインリテラシー I					
課題制作過程を通じてアイデア、イメージをいかにして具体的造型へと構築していくが 理解し、デザインへの移行、プレゼンテーションに至る基礎を学ぶ。 前期は筆記用具と方眼紙を使い、基礎演習と文字とレイアウトについて、後半の色彩にいては一部PCを使用して基本を学んでいく。後期は実際に「フライヤー」「レイアウト「接近」の制作を通じて、自分で考えるか、創る力の習得を目指す。 4回ある講評会・プレゼンテーションでは、人の作品を観ることにより、固定観念の払 技・柔らか頭の構築を目指し、創造する眼を鍛える。またプレゼンテーションにより自の考えを表現する力を養う。	開講期		前後期時間数	3H			
理解し、デザインへの移行、プレゼンテーションに至る基礎を学ぶ。前期は筆記用具と方眼紙を使い、基礎演習と文字とレイアウトについて、後半の色彩にいては一部PCを使用して基本を学んでいく。後期は実際に「フライヤー」「レイアウト「装丁」の制作を通じて、自分で考える力、創る力の習得を目指す。4回ある講評会・プレゼンテーションでは、人の作品を観ることにより、固定観念の払拭、柔らか頭の構築を目指し、創造する眼を鍛える。またプレゼンテーションにより自の考えを表現する力を養う。    オリエン ガイダンス(はじめて学ぶデザインの基本)  2 演習A-1 名前のロゴマークで自分を表現しよう  3 演習A-2   7 デアチェック・作業開始  7 文字 2 文字の単位、0と歯/演習問題  - ト上質方眼/(追加で必)を文字 1 揃えるということ(ゲシュタルトの法則)  7 文字 2 文字の単位、0と歯/演習問題  - トランス 2 本アのサインを考える 1 1 横成 2 写真のフォルムからデザインを考える 1 1 横成 2 写真のフォルムからデザインを考える 1 1 横成 3 演習 3 (2) 第 2 配色を工夫して主役を引き立てる 1 4 色彩 3 演習 3 (3 を) 1 5 総評 前期まとめ「眼を鍛える・単純化する」 1 フライヤー	講師名		小島トシノブ				
1 オリエン ガイダンス (はじめて学ぶデザインの基本)       2 演習A-1 名前のロゴマークで自分を表現しよう         3 演習A-2 4 演習A-3		前期は筆記用具と方眼紙を使い、基礎演習と文字とレイアウトについて、後半の色彩については一部PCを使用して基本を学んでいく。後期は実際に「フライヤー」「レイアウト」「装丁」の制作を通じて、自分で考えるカ、創る力の習得を目指す。 4回ある講評会・プレゼンテーションでは、人の作品を観ることにより、固定観念の払拭、柔らか頭の構築を目指し、創造する眼を鍛える。またプレゼンテーションにより自分					
2 演習A-1       名前のロゴマークで自分を表現しよう         3 演習A-2       7 イデアチェック・作業開始       - 上質方眼組	授業計画	回 主題・目的	概要	持参物			
2 演習A-1       名前のロゴマークで自分を表現しよう         3 演習A-2       7 イデアチェック・作業開始       - 上質方眼組		1 オリエン	ガイダンス(はじめて学ぶデザインの基本)				
1							
1							
1		4 演習A-3	ラグイ アグラエググ・IF未開始	- 上質方眼紙A4			
前期       7 文字 2 文字の単位、Qと歯/演習問題       ン3A         8 文字 3 実際の表現方法       ・ 2 字真の要素をもとにデザインを考える       ・ 三菱色鉛質         10 構成 2 写真のフォルムからデザインを考える       リカラー 36色         11 構成 3 演習B: 36分割のパリエーション       36色         12 色彩 1 写真やイラストから、色をもってくる       用)         13 色彩 2 配色を工夫して主役を引き立てる       用)         15 総評       前期まとめ「眼を鍛える・単純化する」         1 2 3 課題1       フライヤー         i		5 演習A-4	講評会・プレゼンテーション	(追加で必要)			
前期       ** 文字 3       実際の表現方法       ・クロッキー・筆記用具・三菱色鉛質 リカラー 36色 リカラー 36色 ・PC (色彩) 1		6 文字 1	揃えるということ(ゲシュタルトの法則)	・ネオピコライ			
1		7 文字 2	文字の単位、Qと歯/演習問題				
9 構成 1       写真の要素をもとにデザインを考える       ・三菱色鉛質         10 構成 2       写真のフォルムからデザインを考える       リカラー 36色・PC (色彩)         11 構成 3       演習B: 36分割のバリエーション       36色・PC (色彩)         12 色彩 1       写真やイラストから、色をもってくる       用)         13 色彩 2       配色を工夫して主役を引き立てる         14 色彩 3       演習C: 春夏秋冬を平面構成してみる         15 総評       前期まとめ「眼を鍛える・単純化する」         フライヤー       講評会・プレゼンテーション         ・クロッキー・筆記用具	前期	8 文字 3	実際の表現方法				
11 構成 2 与臭のタイルAがら)がインを考える   36色   12 色彩 1 写真やイラストから、色をもってくる   13 色彩 2 配色を工夫して主役を引き立てる   14 色彩 3 演習C:春夏秋冬を平面構成してみる   15 総評 前期まとめ「眼を鍛える・単純化する」   1		9 構成 1	写真の要素をもとにデザインを考える	・三菱色鉛筆ポ			
11 構成 3 演習B:36分割のパリエーション		10 構成 2	写真のフォルムからデザインを考える	* *			
12 色彩 1 写真やイラストから、色をもってくる		11 構成 3	演習B:36分割のバリエーション				
14 色彩 3 演習C:春夏秋冬を平面構成してみる       15 総評     前期まとめ「眼を鍛える・単純化する」       1 2 3 課題1     フライヤー       3 課題1     講評会・プレゼンテーション       6 7     ・クロッキー・筆記用具			写真やイラストから、色をもってくる				
15   総評   前期まとめ「眼を鍛える・単純化する」   1   2   フライヤー   講評会・プレゼンテーション   ・クロッキ・・筆記用具		13 色彩 2	配色を工夫して主役を引き立てる				
1 2 3 課題1 フライヤー		<u> </u>					
2 3 課題1 4 5 講評会・プレゼンテーション 6 7			前期まとめ「眼を鍛える・単純化する」				
3 課題1 フライヤー							
3 課題1 4 5 講評会・プレゼンテーション 6 7			フライヤー				
First							
Total			講評会・プレゼンテーション				
				・クロッキー帳			
【 後世 【 ○ 】 理時 ○ 【レイノノバー	<b>36, ₩</b> □		レイアウト	・三菱色鉛筆ポ			
<sup>按期</sup>	<b>俊</b> 期			リカラー			
9 10 #無証券、プルゼンニーション							
神計去・プレセンナージョン			講評会・ブレゼンテーション 	- 10			
11 12							
<u>12</u>			装丁				
13 課題3							
14 15 業節を、プレゼンニーン・							
┃		15   講評会・プレゼンテーション					
評価方法 出席率と課題評価	評価方法	出席率と課題	評価				
使用ソフト テキスト Adobe Iiiustrator/Photoshop、はじめて学ぶデザインの基本(電子書籍)		Adobe Iiiust	rator/Photoshop、はじめて学ぶデザインの基本(電	子書籍)			

科目名	デザインリテラシーⅡ						
開講期			前後期 時間数 3H				
講師名			新里 真一郎				
受業概要	課題制作に重きを置き、広告を中心としたグラフィックデザインの技術の習得を目的とする。 タイポグラフィ、写真、イラストなど素材としての視点だけではなく、全体を俯瞰して見られるスキルを身につけていく。感覚ではなく、常に考えながらデザインできるスキルも身につけていく。課題ごとにプレゼンテーションを行い、人に伝える能力も磨く。 実際の仕事に近い流れでの課題を通し、グラフィックデザインに対する興味、意欲を生み						
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物			
	1	オリエン	授業ガイダンス/自己紹介ポストカード制作				
	2 3 4 5	課題1	「キャッチコピーから考えるポスターデザイン」 商品とそれに対するキャッチコピーを複数の中から選びそのポス ターを制作する。ビジュアルアイデアの発想とレイアウトを学 ぶ。→ブレゼンテーションへ				
前期	7	8 9  0 課題2  1	「ゆかりのある街のプロモーション」 ロゴマークの制作	スケッチブック /PC			
	10 11 12 13		「ゆかりのある街のプロモーション」 媒体・展開ツールの設定 「ゆかりのある街のプロモーション」 媒体・展開ツールの制作				
	14		プレゼンテーション/講評				
	15	予備日					
	1 2 3	課題3	「感情をタイプデザインする」 「おいしい」や「こわい」などの感情をタイポグラフィに落とし こむ。				
	4		「好きな雑誌の特集ページデザイン」雑誌と特集内容の設定・構成案の制作				
	5 6 7	課題4	「好きな雑誌の特集ページデザイン」詳細なサムネールの制作 (4ページ) 「好きな雑誌の特集ページデザイン」 レイアウト制作				
後期	8			スケッチブック			
12,701	9		「キャラクターを使用したスペシャルWEBサイト」コンセプト・アイデアの設定	/PC			
	10		「キャラクターを使用したスペシャルWEBサイト」キャラクター・サムネール制作	1			
	11	課題5	「キャラクターを使用したスペシャルWEBサイト」ページ制作(3ページ)				
	13		プレゼンテーション/講評	1			
	14	まとめ	一年間のまとめと質問受付・アンケート	1			
	15	予備日		1			
評価方法		期限に遅れ で評価	れたら"D" 提出で60点+発想力・表現力・構成力・完成度 S 100点 A 80点 B 70点 C 60点 D 50g				
テキスト 参考書	随時	指定					

科目名			Webデザイン I			
開講期			後期 時間数 3H			
講師名			竹中 智			
授業概要	「Webデザイン I」の授業では、1年後期より「Webサイト」を製作するための知識、及び、表現スキルを学んでいく。基礎的な内容が中心となるが、可能な限り現在のWeb製作における最新のトレンドも踏まえて授業展開をしていく。(その後、2年生「WebデザインII」授業に続く) 1年後期では、Webサイトの"設計図"となる『ワイヤーフレーム(プロトタイプ)』製作から、『Webデザインカンプ』の製作までを学ぶ。主要アプリケーションとして「Adobe XD」を利用し、アプリケーションスキルから始まり、Webサイトのデザイン製作に特化した知識、考え方、表現スキルを取得していきます。授業課題製作を通じ、自身のオリジナルな商業テーマによるWebサイトのデザインカンプ製作を目指す。また途中「Adobe Photoshop」によるバナーデザイン製作も学んでいく。					
授業計画	口	主題・目的	概要	持参物		
前期	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14					
後期	4 5 6 7 8 9	よるWebデザイン製作に特化した描画機能 実習  Adobe XD によるWebサイトデザイン (カンプ) 製作実習  個人面談・課題制 (下実習) (チェンル等単独地	「Webデザイン I」授業の進め方、授業内容の概要 Webデザイン製作の設計段階である『ワイヤーフレーム(プロトタイプ)』をAdobe XDを使用して学ぶ。/ワイヤーフレーム(プロトタイプ)とは何か/Webサイトのレイアウト構造について(ヘッダー、ナビゲーション、コンテンツ、フッター)/「デザインモード」でのXD基本操作によるワイヤーフレーム・レイアウト構築/「プロトタイプモード」での画面遷移設定/「共有モード」を使ってWebブラウザへのプレビューを作成 Adobe Photoshopは長らくWebサイトのデザイン製作のメインのツールとして使われてきた。Webデザイン製作に特化した基本操作を学びながらPhotoshopによる製作方法にも触れていく。そのなかで、Web広告として利用される「パナーデザイン」を製作実践する。 Webデザインの実際の見た目となる「デザインカンプ」をXDを使用して製作していく。/デザインカンプ製作に必要なデザインの知識や考え方/デザインの基本4原則/Webデザインに特化した構造の考え方/	PC·筆記用具		
評価方法	課題提		科Webデザイン授業専用サイトによる、授業後アンケート回答状況(毎週)			
使用ソフトテキスト			Photoshop/Adobe Illustrator/Webブラウザ(Google Chrome / Apple Sa 受業専用サイトを案内/授業時にレジュメ資料を授業専用サイトから随時配			

科目名		Webデザイン Ⅱ			
開講期			前後期 時間数 3H		
講師名			竹中 智		
授業概要	前期:「Webデザイン I」にて情報設計やデザイン製作中心学んだ内容に続き、続けて製作したデザインをWebブラウザに表示、Webページとして実装するための『コーディング』の技術を、『HTML』による情報整理、『CSS』による装飾(レイアウト)の基礎的な内容を中心に学んでいく。  後期:スマートフォンに対応したWebサイト製作(デザイン中心)の知識を案内していく。 また、近年大きく台頭しているNoCodeツール「STUDIO」にも触れ、デザイナーの立場でもWebコンテンツ制作に触れ易い実装手段としての製作方法も学んでいく。自身のWebコンテンツ作品(設計、デザイン、コーディング)をより多くストックできるよう、課題出題と製作実践を中心した授業も進めていく。課題のテーマ、企画なども含め、設計から目標とする成果物としての作品ができるように、個別フォローを通じて皆さ				
授業計画	口	主題・目的	<u>野のスキルアップを目指す。</u> 概要 ┃	持参物	
前期	Ť	マークアップ」 実践 デザインカンプか らHTML製作実践 (+画像の書き出 し方法) 「CSSコーディ	サーバーとドメインについて/「HTML」について/HTML基礎実践~1.「文書構造」について、2. 画像配置、3. ハイパーリンク)/HTML基本構文/文字コード/HTML記述ルール/改行/見出し/段落/強調/箇条書きリスト/番号付きリスト/説明リスト/画像/ハイパーリンクなど。先ずはサイト構造上必要最小限の要素(タグ)を学ぶ。 Adobe Dreamweaverについて/初期設定(環境設定・サイトの定義)/基本操作/ディレクトリ管理/デザインビューを利用したHTMLマークアップ/文章構造について、画像配置、ハイパーリンク、表組設定デザインカンプからHTMLマークアップ落とし込みまでの流れを実践する。また、Adobe Photoshop (Adobe XD) でデザインカンプから画像ファイルの書き出し方法も学ぶ。  CSSの概念/CSS基本構文(セレクタ・プロバティ・値)/セレクタの考え方と種類について/タイプセレクタ/子孫セレクタ/フラスセレクタ/疑似クラスセレクタ/ブロック (div要素など)とインライン(span要素など)の考え方について マークアップ実践したHTMLを元に、CSSを適用してみる/CSS外部ファイルの適用/reset.cssの適用/Webフォントの適用(Google Fonts)/HTML製作からCSS製作までのレイアウト実践/BEMの考え方/CSSのレイアウトに関するプロパティについて (CSS Flexbox 他)	PC・筆記用具	
後期	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	Webサイト製作 実習 オリジナル 作品製作 テーマ計画 オリジナル	Webデザイン表現における近年のトレンド・傾向について分析する。  スマートフォンサイト (レスポンシブサイト) に関する製作の知識、スキルを学びます。/スマートフォンサイトのデザインカンブ製作について/PCサイトとSPサイトの共存 (レスポンシブ) について/その他  近年台頭してきている「コーディングを必要としない」NoCodeツール「STUD10」を利用してWebサイトコンテンツを製作実践を行う。/ NoCodeツールとは/STUD10について/Starterプラン登録/ダッシュボード画面の説明/操作画面の説明/ブロジェクトの作成/デザインエディターサンプルサイト製作実践/STUD10課題作品製作  オリジナルのテーマで、Webコンテンツにまつわる作品を製作する。そのための企画立案からスケジュールを立て、作品としての成果物落とし込みまで、随時、個別フォロー/フィードバックをする。  平業制作との連動での作品なども考慮していく。	PC・筆記用具	
		•			
評価方法			IL科Webデザイン授業専用サイトによる、授業後アンケート回答状況		
使用ソフト テキスト			ver/Webブラウザ(Google Chrome / Apple Safari)/Adobe XD(F グ授業専用サイトを案内/授業時にレジュメ資料を授業専用サイトか		

科目名			コミックイラスト	
開講期			前期 時間数 3H	
講師名			藤井 みどり	
授業概要	礎か ター トを	ら始まり、の設定を設めている。	を使ったイラストを総合的に学ぶ。キャラクターの頭部や全身、キャラクターを使った様々なイラストをトーマに沿って描く 、キャラクターを使った様々なイラストをトーマに沿って描く 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	く。キャラク つける。イラス きで、常に画面
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物
	1	頭部の描き方		スケッチブック・筆記具・30m定規
	2	表情		※これ以降課題進行に沿って指示
	3	表情	〈ペン画〉バストアップで1人のキャラの表情を4つ描く	
	4 5	全身の描き方 <b>全身</b>		
	6	全身	〈ペン画〉全身の入ったイラスト  〈ペン画〉全身の入ったイラスト	
	7	全身	〈ペン画〉全身の入ったイラスト	
前期	8	マーカーの使い方	〈マーカー〉マーカーの使い方演習	
12	9	マーカー	〈マーカー〉マーカーを使ったイラストを描く	
	10	マーカー	〈マーカー〉マーカーを使ったイラストを描く	
	11	マーカー	〈マーカー〉マーカーを使ったイラストを描く	
	12	植物を描く	〈水彩又はマーカー〉花言葉から連想するイラストを描く	
	13	植物を描く	〈水彩又はマーカー〉花言葉から連想するイラストを描く	
	14	植物を描く	〈水彩又はマーカー〉花言葉から連想するイラストを描く	
	15	植物を描く	〈水彩又はマーカー〉花言葉から連想するイラストを描く	
	1			
	2			
	3			
	5			
	6	1		
	7	1		
後期	8	1		
	9	1		
	10			
	11	]		
	12	]		
	13			
	14	/		
評価方法	15	及び課題		
計画刀ム	шÆ	及い味趣、	1文末に対する状で加がり、これ画	
使用ソフト テキスト			進行によって変わる為その都度告知する。ラフ画・下書きの時は、筆記具定規スケッチブ、修正液。水彩は水彩絵具一式、水彩紙、テイッシュ、修正液。マーカーはマーカー、水	

科目名		フォトグラフィー			
開講期			前期 時間数 3H		
講師名			イキョンソン		
授業概要			ラの機能を理解し、写真の基礎を学ぶ。 を通して構図、遠近感を身につけ作品の幅を広げる。		
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物	
	1	授業内容説明	一眼レフカメラの扱い方		
	2	シャッタースピード	シャッタースピード理解 長時間露光 室内撮影	USBメモリ	
	3	シャッタースピード	ブレない写真を撮る	USBメモリ or PC	
	4	絞り	絞り効果理解 テスト撮影 'ボケ効果'	USBメモリ or PC	
	5	ISO	ISOを理解 室内撮影 ′ 暗い場所でも撮影ができる′	USBメモリ or PC	
	6	適正露出	絞り,シャッタースピード,ISO関係を理解 '明るさをコントロール'	USBメモリ or PC	
	7	WB	色温度を理解 テスト撮影	USBメモリ or PC	
前期	8	スタジオ撮影	食品テーブル撮影(ライト1灯)'美味しく見える写真'	USBメモリ or PC	
	9		校外撮影 '街を紹介する写真を撮る'	USBメモリ	
	10		校外撮影 '写真で街を紹介する'	USBメモリ	
			写真の明るさ、色調整	PC	
	12		ストロボ撮影 (1灯) 瞬間を止める写真	USBメモリ or PC	
	13		レンズ効果 'レンズが変わると見え方が変わる'	USBメモリ or PC	
			人物撮影 'カラーフィルターを使ったかっこいい人物写真'	USBメモリ or PC	
	15	課題提出	講評 (校外撮影、人物撮影課題提出)	課題	
	1				
	2				
	3				
	5				
	6				
	7				
後期	8				
12771	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
評価方法	授業	態度最重要	要視 課題の提出期限		
使用ソフト テキスト	Adob	e Lightro	oom, Lightroom mobile, Photoshop, Bridge		

科目名			産学協同プロジェクト	
開講期			前後期 時間数 3H	
講師名			世界 若菜	
授業概要		からの依頼	頭を元に実際の仕事を体験する。現場のスピード感やクオリラ とする。	ティを肌で感じ
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物
	1	課題1	オリエンテーション、ラフ制作	
	2	課題1	ラフチェック	
	3	課題1	本制作	
	4	課題1	本制作・課題提出	
	5	課題2	オリエンテーション、ラフ制作	
	6	課題2	ラフチェック	
	7	課題2	本制作	<b>第</b> 司 田 目
前期	8	課題2	本制作・課題提出	筆記用具 PC
	9	課題3	オリエンテーション、ラフ制作	10
	10	課題3	ラフチェック	
	11	課題3	本制作	
	12	課題3	本制作・課題提出	
	13	前期末審査	制作・チェック	
	14	前期末審査	制作・チェック	
	15	前期末審査	制作・チェック	
	1	課題5	オリエンテーション、ラフ制作	
	2	課題5	ラフチェック	
	3	課題5	本制作	
	4	課題5	本制作・課題提出	
	5	課題6	オリエンテーション、ラフ制作	
	6	課題6	ラフチェック	
	7	課題6	本制作	<i>m</i> r ==
後期	8	課題6	本制作・課題提出	筆記用具 PC
	9	課題7	オリエンテーション、ラフ制作	10
	10	課題7	ラフチェック	
	11	課題7	本制作	
	12	課題7	本制作・課題提出	
	13	卒業制作	制作・チェック	
	14	卒業制作	制作・チェック	
			制作・チェック	
			こよって評価	
使用ソフト テキスト	随時	配布		

区分 必修 対象 I 部 IL 科 2 年

科目名	イラストレーションゼミ					
開講期			後期	時間数	6H	
講師名				トシダナルホ		
授業概要	卒業	制作。B0 <sup>;</sup>	相当の制作物を各自自由			
授業計画	口	主題・目的		概要		持参物
前期	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14					
後期	8 9 10 11 12 13 14 15	中間審査	オリエンテーション 1.2組合同の中間発表  卒業審査会へ向けて仕上	ıţ		筆記用具/PC等 各自必要なもの
評価方法	完成	作品				
使用ソフト テキスト	自由					

区分 選択 対象 I 部IL科2年

科目名		キャラクターデザイン				
開講期			前後期 時間数 3H			
講師名			大河原一樹			
授業概要	を様決をま	み出す事なパター、 、オリジーに制作の	は創作した世界の住人である。世界観の構築とともに魅力的を目指す。前期で、キャラクターデザインの基本的な考え方ンのキャラクターデザインを実践する。後期では、自分の作ナルの世界観でキャラクターを制作する。各課題の初回に、進め方や描き方、注意点を説明する。 課題として、毎回授業開始後15分間、キャラクターに関するを行う。	を学んだ上で、 りたい方向性を スライドで実例		
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物		
	1	オリエンテーショ	授業の進め方と課題の全体説明 キャラクタースケッチのウォーミングアップ			
	2	課題①	2頭身のキャラクターデザイン 課題説明・ラフ制作	スケッチ用具		
	3	"	ラフの提出・本制作開始	スケッチブックA PC 他、必要なも		
	4	,,	本制作	o a		
	5	" 講評	本制作 提出物:キャラクターの3面図、イメージカット			
	6	課題②	5 頭身以上のキャラクターデザイン 課題説明・ラフ制作			
	7	"	ラフの提出・本制作開始			
前期	8	"	本制作			
	9	" 講評	本制作 提出物:キャラクターの立ち絵			
	10	課題③	条件のあるキャラクターデザイン 教育誌のメインキャラクターデザイン			
	11	"	ラフの提出・本制作開始			
	12	" 講評	本制作 提出物:教育誌の表紙用イラストレーション			
	13	課題④	条件のあるキャラクターデザイン 音楽ジャンルをイメージしたキャラクターデザイン			
	14	,,	ラフの提出・本制作開始			
	15	" 講評	本制作 提出物:LPジャケット用イラストレーション			
	1	課題⑤	ファンシーキャラクターの企画制作 4コマ漫画を使った運用 課題説明			
	2	"	世界観を考える	スケッチ用具		
	3	涂山確認	ラフ制作 途中確認	スケッチブックA		
	4	处中唯心	本制作	PC 他、必要なも の		
	5	"	本制作 キャラクターが登場する 4 コマ漫画を作成			
	6	" 講評	講評会 提出物:キャラクターのイメージカットと4コマ漫画			
	_	課題⑥	ストーリー型のオリジナルキャラクターデザイン 課題説明			
後期	8	<b>派起</b> ①	・世界観の決定			
	9	途中確認	・メインキャラクターデザイン (主人公)			
	10	少个唯心	・サブキャラクターデザイン (仲間)			
	11	途中確認				
	12	少十班部	・モブキャラクタ-デザイン ・背景画の制作			
	13	,,	・ 月 京 回 の のり TF ※ 進行 は 個 人 の ペース を 見 な が ら 調 整 し つ つ 進 め る			
	14	,,	提出物:全キャラクターが登場する作品のイメージポスター			
	15		提出物:主キャブクッーが登場するTFmのイメージがスター 1年を振り返る講評会			
		•	取り組み姿勢により評価			
使用ソフト	Adobe	Photoshop.	Adobe Illustrator			

区分 選択 対象 I部IL科2年

科目名	ビジュアルデザインワーク				
開講期	前後期 時間数 3H				
講師名			縄手 和弘		
授業概要	基本制作物の目的意識をしっかり持った上で、「創ること」「伝えること」を授業内容とします。イラストレーション科ならではの絵が描けるスキルと、グラフィックデザインを融合させる事で、デザインにビジュアルがいかに重要かを学びながら「モノづくりは楽しいなぁ」のモチベーションを上げ、さまざまなデザイン物を総合的に定着させる流れで授業進行する。●サムネール=アイデアからデザインへ定着させれる力を磨く。●実戦的なワークフローに合わせてデザインすることで、青年感、緊張感の音識を享める。●オリエ				
授業計画	回	主題・目的	概要	持参物	
	1	●商品開発&販促 オリエン	商品企画→パッケージD→SP→売場ツールD→広告D	PC・紙・ペン	
	2	(コンセプトワーク)	※企画を支給(お菓子のパッケージ開発から販売促進計画へ)	//	
	3	●パッケージ デザイン	情報整理→アイデア→キャラ開発(ビジュアル→レイアウト	"	
	4	(商品ロゴ開発)	H	"	
	5		パッケージ用キャラクター&シズルの作成	"	
	6	(シズル作成)	ハファーン加へドラファー、Qラスルの作成	"	
	7	(レイアウト)		"	
前期	8		情報整理→アイデア→ビジュアル作成→レイアウト→文字組	"	
13.773	9	<ul><li>販促計画</li><li>(キャンペーン)</li></ul>	<del>情報を建一がイナナーとフェナル作成→レイナット→文子組</del> キャンペーン内容計画		
	10	(ビジュアル作成)	版促用ビジュアルの作成	"	
	11	●売場ツール		"	
	12	デザイン	メインボード/スイング/腰ポスターなどのPOP関連 売場イメージビジュアルの作成	"	
	13	●父通広告		"	
	14	デザイン	情報整理→アイデア→ビジュアル作成→レイアウト→文字組	"	
	15	●フレセン	前期の主にめ、後期に向けて	"	
	1	テーション ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	前期のまとめ→後期に向けて	"	
	2	ングオリエン (ブランディ	店舗 or 企業・店舗設立(仮)→VIデザイン→広告デザイン	"	
	3	ング計画) ●VIデザイン	情報整理→アイデア→VI開発→レイアウト→文字組	"	
	4		CI活動の理解→VIの作成	"	
	5	(ロゴ開発)	文字組について	"	
		(ロゴ開発)		"	
	6 7	●VIマニュアル	ページ構成&文字組を意識したマニュアルの作成	"	
後#□		インナーツール	名刺/封筒/社用車/ユニホームなど5種以上の作成	"	
後期	8	インナーツール <b>●ノラント</b>		"	
	9	展開	運営に必要なツール or 商品を4種以上作成	"	
	10			"	
	11	●ノラント		"	
	12	新聞広告	ブランドPR広告新聞全15段の作成	"	
	13			"	
	14	●フレセン		"	
	15	テーション	1年間のまとめ	"	
評価方法			遅れたら"D" 60点以上の生徒(発想力10点満点・表現力10点満点 満点)60点+40点	・構成力10点満	
使用ソフト					